

平成31年1月30日（水）に、ホテルポートプラザちば（千葉市中央区）にて、千葉市産業振興財団との共催で、千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議セミナー「次世代型ヘルスケアビジネス交流会～千葉発！最先端ベンチャー・ビジネスの可能性～」を開催しました。

## 1 第一部 がんゲノム解析による近未来医療

基調講演：千葉県がんセンター研究所所長 永瀬 浩喜 氏

～未来医療を見据えたがんゲノム解析の応用・新産業創造の可能性～

千葉県がんセンター研究所 永瀬所長から、がんゲノム医療とは、がんゲノム医療の千葉県における取り組み、かずさDNA研究所との連携の紹介などのお話をいただいた。

事業化プロジェクト発表：株式会社ゲノムクリニック代表取締役 曾根原 弘樹 氏  
～遺伝子解析によるがん発症リスク判定の事業化～

(株)ゲノムクリニック 曾根原代表取締役から、解析技術の進展により可能となった遺伝子変異の検出による疾患リスクの判定に係るビジネスモデルの説明や、がん発症リスク判定によるがん予防の可能性などについてお話をいただいた。

## 2 第二部 認知行動療法による精神疾患リスクの回避

基調講演：千葉大学医学部付属病院 認知行動療法センター長

千葉大学大学院医学研究院 教授 清水 栄司 氏

～子どものこころの健康や不眠症・うつ病等に対するアプリ処方モデルの実現～

千葉大学認知行動療法センター長の清水氏から、様々なこころの問題の解決に向けた認知行動療法を、ゲーム感覚で行えるような取り組みや、認知行動療法をアプリ化する取り組みについてのお話をいただいた。

事業化プロジェクト発表：株式会社テレマ 代表取締役 三輪 剛 氏

～認知行動療法を基にしたアプリ開発事例の発表～

(株)テレマ 三輪代表取締役から、対面治療を原則とし、時間もかかるため患者の負担が大きい認知行動療法を、ゲーム感覚のアプリで実現する開発プロジェクトについてお話をいただいた。



### 3 交流懇親会

講演後に行われた交流懇親会では、各講演者のブースでの説明・紹介展示や、参加者同士の交流・名刺交換などが活発に行われました。

